

海外見本市 ジャパンパビリオン

主要見本市にジェトロが設ける「ジャパンパビリオン」に出品しませんか？



海外見本市に出展すると…

- ✓主要な海外見本市には多くの国・地域の有力バイヤーが集まります。
- ✓個別アプローチが困難な海外バイヤーとの商談機会が期待できます。
- ✓複数の海外バイヤーと効率的に商談を進めることができます。
- ✓海外における食のトレンド等最新の情報やライバルの動向を把握できます。

ジャパンパビリオン出品のメリット

1. 費用負担の軽減 ブース装飾費、広報費、出品料の一部等をジェトロが負担しますので、単独で出品し、同等の装飾および広報をする場合に比べて、費用を抑えることができます。	2. 出品手続きを安心サポート 出品申し込みやブース装飾など、見本市参加に伴う煩雑な手続きをジェトロがサポートしますので、海外見本市に出品される方の負担を軽減します。
3. 効率的な広報・バイヤー来場誘致 ジェトロの海外ネットワークによる来場誘致や、広報媒体、見本市会場内への広告設置等を通じ、来場者にジャパンパビリオンの認知度を高め、バイヤーの来場を促進します。	4. 輸出に関するアドバイス ビジネス経験豊富なジェトロのアドバイザーが、植物検疫手続きなど、輸出全般に関するアドバイスを提供します。

農林水産物・食品の輸出にかかるジェトロのサービス等詳細はこちら



農林水産物・食品の
輸出を支援します！

「農林水産物・食品の輸出支援ポータル」

➔ <https://www.jetro.go.jp/agriportal/>

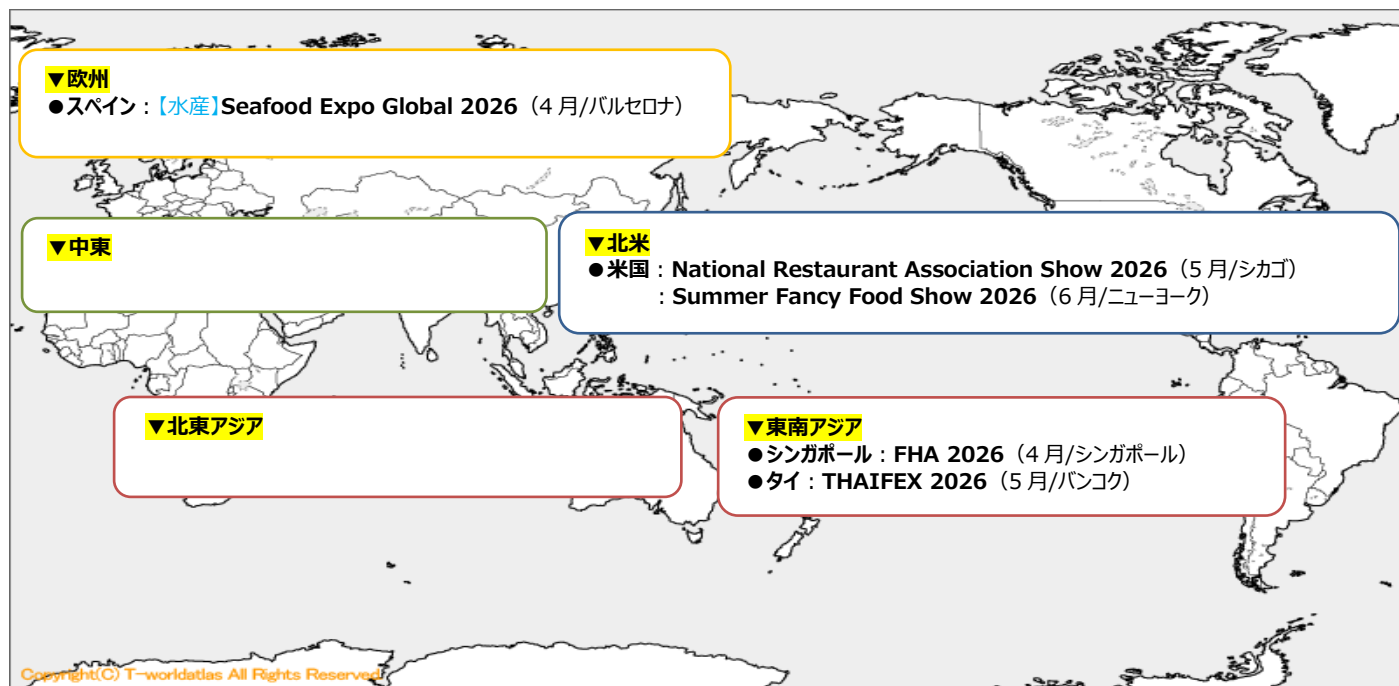
品目・国別の情報、年間事業計画、メルマガ等へのリンクも掲載されています。
情報収集等のツールとして、ぜひご活用ください。

お問い合わせ先

日本貿易振興機構（ジェトロ）農林水産食品部 事業推進課（TEL：03-3582-5546）

2026 年度 海外見本市ジャパンパビリオン出展計画（農水分野）

- ・募集は会期の 5～6 カ月前ごろ、ジェトロウェブサイト（<https://www.jetro.go.jp/events/>）を通じて行います。
・記載内容は予告なく変更することがあります。詳細は必ず、各見本市の「出品案内書」をご確認いただくをお願いします。



No	会期	開催地	見本市名	概要	こんな方におすすめ／ 本事業における有望商品 ※当該商品以外の出品も可。	募集 枠数
1	2026 年 4 月 21 日～ 4 月 24 日 募集中（～9 月 24 日）	シンガポール 	FHA 2026	アジア最大級の総合食品見本市 《前回実績》 出：1,656 社・団体 来：約 48,000 人	★シンガポール市場、更にはアジア市場全体への新規参入・販路拡大を目指す事業者 水産物（ホタテ、ブリ、イクラ、ウニ等）／日本産アルコール類（日本酒以外も歓迎）／果物／畜産物（主に牛肉）／お茶／お菓子・スナック類／冷凍食品、健康志向食品／シンガポールをはじめ、ASEAN に未進出のもの	30
2	2026 年 4 月 21 日～ 4 月 23 日 募集中（～9 月 26 日）	スペイン （バルセロナ） 	Seafood Expo Global 2026	世界三大水産見本市の一つ 《前回実績》 出：2,187 社・団体 来：35,000 人	★欧州向け水産物・水産加工品の市場開拓、販路拡大を目指す事業者 ハマチ（ブリ）、ホタテ、マグロ類、サバ ※以下の条件を満たしていると望ましい。 ・寿司用食材として使える水産物・水産加工品／・中食・内食向け商品（調理の簡単な商品、缶詰や冷凍品等）／・持続可能性に強みのある商品（水産エコラベル取得済み商品）／・GFSI 承認認証取得済み商品 ※出品物は有望品目に限らず、制度上、欧州へ輸出可能なもの（EUHACCP 認証取得済み等）に限る。	16
3	2026 年 5 月 16 日～ 5 月 19 日 10 月中旬募集開始予定	米国 （シカゴ） 	National Restaurant Association Show 2026	米国最大級のレストラン・食品サービス関連見本市 《前回実績》 出：2,300 社・団体 来：約 53,000 人	★北米・米国（中西部）市場への販路拡大を目指す事業者 未定	18

※《前回実績》・・・出：出展者数、来：来場者数（主催者発表による）

No	会期	開催地	見本市名	概要	こんな方におすすめ／ 本事業における有望商品 ※当該商品以外の出品也可。	募集 枠数
4	2026年5月26日～ 5月30日 11月中旬募集開始予定	タイ (バンコク) 	THAIFEX 2026	東南アジア最大級の総合食品見本市 《前回実績》 出：3,231 社・団体 来：88,349 人	★タイ市場、更にはアジア市場全体への新規参入・販路拡大を目指す事業者 ・牛肉（和牛だけでなく、交雑牛などを含む。赤身などの肉質、ロイン系以外の部位を含む） ・水産物・水産加工品 ・果物など青果物及び同加工品、原材料になる一次加工品 ・茶（飲料含む） ・菓子類（米菓・チョコレート・スナック菓子など。特に、マスマーケット向けの商品） ・酒類（特に、クラフトビール、ウイスキー、果実酒、ジン、泡盛） ・調理済みまたは半調理済みの冷凍加工食品 ・今後ニーズが高まる可能性のある食品（例：健康志向食品、介護食・ベジタリアン・ハラールなど特定の層をターゲットにした食品）	未定
5	2026年6月28日～ 6月30日 11月中旬募集開始予定	米国 (ニューヨーク) 	Summer Fancy Food Show 2026	米国東海岸最大級の高級食材見本市 《前回実績》 出：2,492 社・団体 来：32,000 人	★米国・北米市場への販路拡大を目指す事業者 オーガニック食品、グルテンフリー食品、ベジタリアン向け食品、非遺伝子組換え食品、調味料/ドレッシング類、菓子/スナック/スイーツ類、麺類、茶、その他加工品（ゆず製品、わさび製品等）	32

※《前回実績》・・・出：出展者数、来：来場者数（主催者発表による）